

##見出し

BWC・第119回定例会

臭い基準作成など審議

“睡眠”テーマに勉強会も

##本文

ベストウールクラブ(BWC・野村利泰会長)は、9月12日、東京・中央区八重洲のTKP東京駅前カンファレンスセンターで、「第119回定例会」と「勉強会」を開催しました。

冒頭、大東紡寝装顧問・野村会長が、「繁忙期に入りつつある中で、ご参加頂き感謝申し上げます。2020年の東京オリンピックの招致が決まるといううれしいニュースがありましたが、これも携わった人達の努力の結果であり、大変喜ばしいことであります。一方、我々の業界は寂しいニュースが起きましたが、羊毛素材(ふとん)がより良い睡眠に欠かせないことを、消費者にきっちり(的確に)届けられるよう、努力していきたい」と更なる理解と協力を求めました。

議題に先立ち、カネヨウ取締役・後藤稔書記から、「第118回定例会」のレビュー(議事報告)と共に、ダルマックスより、正式に当クラブへの退会の申し入れがあった旨の報告がありました。

また、大恵ウール常務・西岡一則幹事より、同社・故柴田秀利工場長の通夜、葬儀におけるBWC及び、会員各社からの献花、弔電に対して御礼の挨拶がありました。

引き続き、議案審議に入りました。

議題① 羊毛の不快感臭いに関する基準作成について=6月6日にAWI, JFMA, FGWC, BWCの各代表が集まり討議を実施し、AWIにおいて不快感臭いの成分分析を行う運びとなりました。豪本部では分析できず、日本支社において現在分析検討中とのこと。今後、執行部において、AWIへの要望、協議を引き続き続けていくことになりました。

議題② ウォッシュャブル羊毛ふとんの開発について=野村会長より「E-WOOL」原料についての説明、また、同羊毛を使用した製品の洗濯後のサンプルを確認するなどしながら検討を行いました。洗い方の問題、クリーニング店の問題、ウォッシュャブル性能そのものの必要性などについて活発な意見交換を行いました。引き続き、この問題についての審議を続けるかどうかも含めて一度執行部においても協議をしていくことになりました。

議題③ BWC会費改訂について=収支のバランスの是正を行うことを目的とし、執行部より会費改訂との提案と、併せてレーヌマーク費用の軽減についての提案があり、賛成多数にて改訂を行うことと決定しました。

収支面での補足として、FWA(フランス羊毛協会)からの協賛金について、賛助会員の興国繊維商工部長・熊川浩司氏、カネヨウ・勢間聡氏が途中経過報告を行いました。

議題④ その他=来年の海外研修について協議し、海外、国内も含めて執行部において、次回定例会までに具体的な案を作成し、再度審議にかけることとなりました。

定例会はアサギ常務・後藤利広会計監事の閉会の辞で滞りなく終了した。

終了後には、快眠セラピストの三橋美穂氏を講師に招いて勉強会を開きました。テーマは、「今、なぜ睡眠が注目されるのか」として、近年の一般消費者の嗜好の変化や、睡眠についての注目の高まりなどについて、キメ細かく解析して発表。“BWC活性化”のヒントになるような、アイデアが

次々と繰り出され、参加者は熱心にメモを取っていました。

なお、次回、今年最後の定例会(第120回)は12月12日の予定です。